

第十回 国指定名勝楽山園投句会入選作品

季節『冬』

期間 平成二十八年十二月一日～平成二十九年二月二十八日

選者 雨宮抱星（群馬県俳句作家協会顧問・俳誌「草林」主宰）

一般の部

賞	作品	住所	氏名
最優秀賞	裸大樹往時を語る武家屋敷	富岡市	市川弥栄乃
優秀賞	落葉して城下の空の戻りけり	藤岡市	木村 秀子
優秀賞	冬の日の木もれ日遊ぶ磨崖仏	東京都	杉山 わたる
優秀賞	寒月や城址名ごりの釣瓶井戸	富岡市	白倉良子
入選	小春日に時を忘れて風を聞く	高崎市	武井 正志
入選	楽山園銀嶺を透く枯木立	前橋市	代田 幸枝
入選	庭園の小春日の空舞ふ鳶	富岡市	金庭壽重子
入選	再起謀る武将のやうに寒の鯉	藤岡市	黒澤蓮子
入選	空つ風に関の声聞く陣屋跡	富岡市	相川富士江
入選	空つ風遊ばせてゐる楽山園	前橋市	下山信行

いづもの部

賞	作品	住所	氏名
特別賞	日射しあび春のたよりを待っている	高崎市	武井 柚薫